

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年8月11日
明治大学の所属学部・研究科	法学部(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年7月21日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	ポーランド
留学先大学	ウッチ大学(日本語名) Uniwersytet Łódzki(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ポーランド語/英語
留学期間	2022年10月～2023年7月
留学先大学で在籍した学年	2～3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 法学部 (現地言語での名称): Faculty of the Law and Administration <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 10月上旬～1月下旬 2学期: 2月中旬～7月上旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	約 25,000
創立年	1945年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ズロチ zloty)	日本円	備考
授業料	0zl	0円	明治大学への学費のみ
宿舍費	5,600zl	170,000円	月 560zl
食費	2900zl	100,000円	
図書費	0zl	0円	
学用品費	0zl	0円	
携帯・インターネット費		円	月 20zl
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0zl	0円	
被服費	1500zl	50,000円	
医療費		円	
保険費		132,490円	形態: 明治大学海外保健費
渡航旅費		300,000円	
ビザ申請費	0zl	0円	
雑費	1500zl	50,000円	
その他		600,000円	旅行費
その他		円	
合計	11,500	1,312,490円	

※ 数字は半角で入力してください。例) 520,000

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 羽田空港 目的地: ワルシャワシヨパン空港 経由地: フランクフルト(ドイツ)	
復路 出発地: ワルシャワシヨパン空港 目的地: 羽田空港 経由地: フランクフルト(ドイツ)	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: ルフトハンザ航空 料金: 300,000円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: ルフトハンザ航空公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:10 番寮) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人(トルコ人))

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

ウッチ大学から大学の寮のリストがメールに届き、値段と場所を照らし合わせて自分にあった寮を選んだ。希望通りだった。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

二人部屋が二つあり、4 人ユニットでトイレとお風呂とミニ流し台は 4 人で共有。二人部屋なのでプライバシーがなく、気を使う場面もあるが違う国の文化を知る絶好の機会でもあり、コミュニケーション能力も向上するので寮はおすすめ。10 番寮は大学の寮の中で唯一バルコニーがあるが建物や設備は古いが、スーパーやドラッグストアなどがとても近い。12 月に WIFI の回線設備がされたので WIFI 環境もバッチリである。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

ヨーロッパ中を一人で観光したが、何も危険な目に遭うことは一切なかった。明るいうちに行動することや荷物は肌身離さず持ち歩くことを徹底していれば安心して観光などを楽しむことはできる。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは比較的安定していた。ポーランドで初めて空港に着いた時に空港のキオスクでプリペイド SIM を購入し、それを 10 ヶ月間使い続けた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から予めクレジットカードやデビットカードを持参したため、現地で口座を開設する必要はなかった。三井住友銀行のデビットカードはどこでも使えた。ポーランドはキャッシュレスが進んでいるので基本カードのみで買い物などはできるが、現金もいくらか持っておくとよい。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

カイロはあれば良かったかなと思うが、基本アジア食品店などにいけば日本のものも売ってあったりするので特に持っていくべきだった物はなかった。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
English(legal english)		法律英語
科目設置学部・研究科	法学部	
履修期間	冬学期	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	ポーランドの憲法や民法などの概要を英語にした教科書を元に問題を問いたり、意見交換をした。	
試験・課題など	プレゼンテーションと法律英語の単語の知識などを問うペーパーテスト	
感想を自由記入	先生はとても優しく授業はとても興味深いものであった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
European civil procedure		ヨーロッパ民事訴訟法
科目設置学部・研究科	法学部	
履修期間	冬学期	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	ヨーロッパ民事訴訟法についての講義	
試験・課題など	期末試験は 15 問の正誤問題	
感想を自由記入	完全なる講義形式だが、試験はとても解きやすいものであった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
internaional law in internaional relations		国際法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	冬学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 135 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	国際法についてディスカッションが中心		
試験・課題など	5~7 ページのエッセイと口頭試問		
感想を自由記入	課題も多くディスカッションのテーマがかなりレベルの高い授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Internaional Criminal law		国際刑法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	冬学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	国際刑法について生徒が 1 時間程度の授業のプレゼンテーションを用意して授業をする		
試験・課題など	上記のプレゼンテーションが成績評価		
感想を自由記入	60 分間のプレゼンテーションを作成するのは大変だったが、とてもやりがいがあった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
internaional trade law		国際取引法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	冬学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授			
授業内容	主に CISG についての内容が多かった		
試験・課題など	7 ページ分のエッセイ		
感想を自由記入	担当教授の英語がとても早く聞き取るのに大変苦労した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
American civil procedure		アメリカ民事訴訟法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	夏学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	アメリカ民事訴訟法についての仕組みなど		
試験・課題など	15 問の正誤問題		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Polish Constitutional Law		ポーランド憲法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	夏学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	ポーランド憲法についてテーマを絞ってディスカッション		
試験・課題など	生徒が 15 分以上のプレゼンテーションをする		
感想を自由記入	とてもアットホームな環境だった		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
European Labour law		ヨーロッパ労働法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	夏学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	ヨーロッパ労働法についてディスカッションを通じて知識をえる。		
試験・課題など	5~7 ページのエッセイとプレゼンテーション		
感想を自由記入	教授がとても日本に対して関心があり、日本の労働環境について聞かれることが多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Europan Constitutional Law		ヨーロッパ憲法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	夏学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授			
授業内容	EU法を発展的にした授業内容		
試験・課題など	30問の選択問題		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Polish Civil procedure		ポーランド民事訴訟法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	夏学期		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授			
授業内容	ポーランドの民事訴訟法とスペインやイタリアの民事訴訟法についても学ぶことができた		
試験・課題など			
感想を自由記入			

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	試験勉強
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	予防接種
	4月～7月	
	8月～9月	航空券購入、ビザ申請・取得
	10月～12月	留学開始
留学/帰国年	1月～3月	期末試験・夏学期開始
	4月～7月	期末試験・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ポーランドは物価も安く、パンが一個 60 円などユーロ高・ドル高の中、とても生活しやすかった。ポーランド料理は全般に美味しく、特にスープがおすすめ。スーパーマーケットなどにマグカップでできる粉末タイプのスープがあるので冬はこれを飲んで暖まると良い。

気候はやはり冬は雪が降り、霧もあってとても寒いと感じる日々が多かったが、5 月ごろになると急に春めいて晴れる日が多く過ごしやすい。

大学の寮は立地などはとても良いが、二人部屋なのでトラブルが発生することもある。私のルームメイトだった中国人が、寮則では朝7時から夜10時以外は部屋に他の人を入れたらいけないという寮則があるにも関わらず、部屋に男友達を連れ込み夜遅くまで滞在したり同じ部屋に泊まったりしていた。私は 1 学期期間だけの辛抱だと思い何回かは注意したが、改善することはなかった。ルームメイトが留学を延長することを知り、この状態がさらにもう1学期期間続くことはそれ以上耐えられなかったため、とうとう寮のマネージャーや大学に相談をし、ルームメイトの部屋を変えてもらうことにした。ここで学んだことは嫌な状況をなにもせずに耐えるのではなく、自ら動いて状況をいい方向に導くことが大切だと感じた。またもっと早い段階から行動すればよかったと思っている。大学の寮生活を送ることはルームメイトと相性が合えばとても楽しいものになるかもしれないが、ルームメイトと暮らす上で何か少しでも悩む場面があれば迷わずすぐに大学や寮のマネージャーに相談すると良い。大学寮のレセプションの人のほとんどの人は英語が話せないため、寮のマネージャーに直接話すとい。

留学生活においては英語で課題や予習を行ったりすることも多く、意外と一人の時間が多かった。この一人の時間も有効に使うことも大事ではないだろうか。

どのような留学生活を送るかはひとそれぞれだと思うが、トラブルにもし直面しても少しでもいい状況になるように常に自ら行動するというのを忘れないでほしい。あと周りに相談することも。